

学校だより 三和中シュワッチ!

三和中学校188 和
中
校長 宮里直哉

**一年間ありがとうございました
自分らしい汗のかき方で、自分だけの花を咲かせてね**



凛々とした76期生の姿、誰もが笑顔の素敵な卒業式でした

3月9日(土)、心地よい陽だまりの中で、第76回卒業式が行われました。全校生徒・保護者ご来賓の皆さんが見守る中、拍手での入場、全校生徒による卒業の歌斉唱、そして花道を通っての退場まで、76期生の凛々しい姿が印象深い、みんなが笑顔の素敵な卒業式でした。

前日からの1,2年生による会場づくりや、リハーサルを何度も行った生徒会の演出、送辞、答辞、そして安里一樹PTA会長の保護者代表あいさつ等どれも思いやりにあふれたものでした。1,2年生の皆さん、また当日ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



新入生体験授業・・・79期生の皆さん、4月を楽しみに待ってます

3月13日(水)、次年度入学予定の小学6年生に少しでも早く中学校に慣れてもらおうと、A組、B組(仮のクラス)に分かれ、3校時から清掃まで小学校、中学校の先生方と一緒に、体験授業が行われました。3校時はA組は数学、B組は国語を、4校時は中学2,3年生による学校紹介、進路についての話(ビデオ)、校

A組の様子(左)、B組の様子(右)

内巡り等が行われました。給食、清掃も楽しそうに行うことができました。明るく元気な様子に皆さんが入学するのがとても待ち遠しくなりました。

「沖縄PUSHネットワーク 特別講習～心肺蘇生法～」

3月13日(水)、3校時「心肺蘇生について理解し、正しい応急手当の方法を身につける」ことを目的に、2年生を対象に沖縄PUSHネットワークの儀間辰二さん(浦添総合病院・救急救命士)を招いて講習会が開かれました。最初に救いたかったけれど救えなかった命のお話から、心肺蘇生法を学ぶことによって救える命が増えることを伝え、学習キット『あっぱくん』を使って実技指導に移っていきました。一度だけではなかなか身につけにくいかもしれませんが、命の尊さを感じながら、学校で、家庭で、地域で万が一に備え対応できるようにしてほしいと思います。



「思春期教室 ～助産師から中学生へ伝えたいこと～」

3月13日(水)、5校時「中学生の心身の発達特性をとらえさせ、性的関心や性的発達に対する適切な対処の仕方を身に付けさせる」ことを目的に、1,2年生を対象に助産師・公認心理士・思春期保健相談士の笹良秀美さんを招いて講演会が開かれました。「10代は自分らしく生きていくためのステージ、未来は自分自身でデザインしていきます」というお話から始まった講演は、思春期が心と体がアンバランスであること、思春期の男女の悩み、性別違和について、沖縄の思春期の性について、妊娠と出産、SNSでおきていること、自分と相手を守るもの(身体、心の距離感)等たくさんの“相手を思いやる”ことに触れたお話が聞けました。“知識がないことが、性トラブルにつながる”“10代の妊娠は子どもを育てることをトータルで考えているだろうか”・・・これまでタブーとされていることを歯切れよくお話されていて大変わかりやすく、生徒の皆さんも真剣に聞いていました。



裏面に続きます

授業態度の落ち着きが、学力向上の第一歩。家庭学習の定着に期待!

1, 2年県「到達度調査 (R.6年2月)」、
3年「全国学力学習状況調査 (R5.4月)」より

県との比較	1年	2年	3年	
			県との比較	全国との比較
国語	-5.3%	1.6%	5.0%	0.2%
数学	1.1%	15.7%	12.0%	3.0%
英語	3.7%	4.2%	3.0%	-6.6%

1, 2年県「学びの確かめ (R.5年6月)」

県との比較	1年	2年
国語	-0.3%	5.1%
数学	-6.3%	12.4%
英語		11.2%

ザ
テ
ク
リ
ン



2月16日(金)、沖縄県到達度調査(1,2年生対象)が実施されました。この調査は、本県の中学校1,2年生が、3教科(国・数・英)のテストを実施し、生徒一人ひとりの学力の定着状況を把握するとともに、授業改善に活かすことが目的です。左の表は到達度調査の結果を県と比較したものです。5教科で県平均点を上回っています。6月に行われた「学びの確かめ」の結果と比較しても1,2年生共に頑張っています。特に、数学の伸びが目立ちます。落ち着きのある授業態度と活発な対話による取組みの成果ではないでしょうか。家庭学習への取組が定着すれば、もっと学力は

向上する事が考えられます。生徒の皆さんの頑張りを称えるとともに今後の取組に期待します。

離任する先生方より

崎江直美先生

“ともに喜び、涙を分かち、睦む姿の尊さよ”校歌の二番を歌うと三和中で過ごした八年間の生徒の顔が懐かしく思い出されます。心優しい三和中学生のご活躍を応援しています。お世話になりました。

新垣健太先生

三和中学校の時間は本当に貴重な時間でした。しあわせな時間をありがとうございました。また戻ってきます!

川満健太先生

二年間お世話になりました。

離任する職員紹介

宮里直哉 (校長) .. 役職定年で西崎中へ

崎江直美 (音楽) .. 退職

新垣健太 (社会) .. 新規採用で玉城中へ

川満健太 (体育) .. 座間味中へ

外間諒花 (家庭科) .. 玉城中、知念中へ

三和中での二年間は私にとつて楽しさと成長を感じることでできた時間でした。

学年とわず、必死に応援する姿や共に喜び、笑い合う姿には感動しました。

二年生のみなさん、次はあなた方が学校のリーダーです。共に手を取り合い、妥協することなく、三和中学校を引っ張ってください。期待しています。

外間諒花先生

二年前、初めて三和中学校に赴任した時は不安や心配でいっぱいでしたが、生徒の皆さんが明るく素直で、皆さんにたくさん助けられました。

皆さんと授業をするところが楽しいなと感じていたので、すごく寂しいですが、皆さんのことを応援しながら新しい学校でも頑張ります。皆さんも残りの学生生活を楽しんでください。二年間本当にありがとうございました。



校内の風景

学習支援員の健康支援員が、先生方がボラ活動の前で、職員室前の玄関に素敵な庭園を作っています。す(下)このほかに校内の環境整備に力を入れています。ありがとうございます。



保護者の皆様へ：2年間、ご協力ありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします

☆学校教育目標「ふるさと三和を愛し、主体的に学び続け、お互いを尊重し合う、心身共に健やかな生徒」

☆生徒会テーマ「笑顔でキョウカン(共感・協汗・響歎)」

☆「主体的な生徒・和を尊ぶ学校・智を磨く教師」→ 頭文字をとって学校経営のキーワードとして「シュワッチ」絵に描いた餅にならぬように、できるだけわかりやすく、できるだけポップで覚えやすいように、そして活動の道標になるように、と先生や生徒の皆さんに提示した言葉は、多少は効果はあったでしょうか。学校が少しでも楽しく思えたら、と「真剣に、オモシロく」を念頭に紡いだ各行事、各パフォーマンスは楽しめたでしょうか。先生方が試行錯誤しながら懸命に取組んだ単元テストやチャレンジテストは、学力向上につながったと実感できたでしょうか。

私自身は、温かい生徒、保護者、地域、そして教職員に恵まれて、忘れがたい豊かな時間を過ごさせていただきました。三和中学校、本当に大好きです。2年間ありがとうございました。

きっとこれから多くの優れた人材が三和地区からたくさん輩出されることと思います。その土壌がこの地域、学校にはあります。これからも三和中学校へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。 校長 宮里直哉